

### 中央地区環境市民会議が調べた環境の現状

地球温暖化防止活動やごみの削減対策では、地球温暖化防止活動推進員などが中心となり、イベントのブースなどで啓発活動を行いました。しかし、市民の意識はまだ不十分なところもあるので、今後も一層の地道な活動が必要です。

河川的环境については、度重なる豪雨等で浅川の状態が変化し、全体的に平坦になりました。生態系も変わり、ウグイ、ホトケドジョウなどが今まで確認できた場所で確認できず、減少していると思われます。また、川のごみについては洪水の影響により少し減少しました。

まちのみどりの保全活動では、環境グリーンマップでの樹木などの把握が十分でなく、更新が必要です。大気汚染測定では、二酸化窒素の基準値がいずれの測定箇所でも下回り、漸減していますが、交通量の多い地点では継続して調査を行う予定です。

## ■ 中央地区の主な取組

### 1 地球温暖化防止のための省エネ生活の推進

地球温暖化防止活動推進員として、中央地区から6名が参加し、家庭グループのリーダーを務めました。年間を通して、「家庭の省エネ講座」の講師を推薦するとともに、講座を実施し、今の環境問題や市民が自らできる省エネ行動を説明しました。5月にはゴーヤの苗作りを中央地区のメンバーで行い、6月の環境フェスティバルで環境クイズの景品として配りました。



「家庭の省エネ講座」(大和田市民センター)

### 2 ごみの分別徹底とリサイクルの推進

4月の春のみずき通りフェスティバル、7月の中野市民センター七夕まつり、10月の子安・大和田市民センターまつり、11月のいちょうまつりで「環境コーナー」を設け、クイズを通して正しいごみの分別を説明しました。クイズの景品として八王子のダンボールコンポストで作ったたい肥を配布し、家庭での生ごみのたい肥化について呼びかけました。



環境フェスティバル

エコひろばでは「もったいない委員会」に参加し、「あったかホールまつり」などのイベントを支援するとともに、ダンボールコンポスト事業では生ごみリサイクルリーダーとして支援しました。

### 3 河川の清掃活動

清掃活動を、浅川で1回(4月)、川口川で1回(12月)実施しました。また、水生生物・水質調査活動時にも、周辺を中心に流れの中や河川敷のごみを収集し、延べ32名の参加で可燃物39.5袋・不燃物10袋・一人当たり1.5袋分のごみを回収しました。



河川クリーン活動(中野橋付近)

## 4 河川の巡回観察・調査活動の推進

河川巡回を浅川で27回、南浅川で4回、山田川で4回、川口川で1回実施しました。活動内容は会議時に報告し、必要に応じて管理者に実状を報告しました。

調査活動については、大型台風の影響で活動内容を調査地の整備作業に変更し、台風被害の修復を行いました。

水生生物の調査活動を3回(延べ12名参加)、水質・流量の調査を6回(延べ20名参加)実施しました。また、6月の「身近な水環境の全国一斉調査」にも参加しました。



湧水集水地 水質と流量調査  
(萩原橋上流)

## 5 環境教育・環境学習などの推進

9月の自然体験講座「浅川ふしぎ探検」は台風により中止となりました。中央地区小学校6校に対し、環境教育支援事業として川の体験学習を9日間行い、延べ34名が支援しました。八王子浅川水辺の楽校運営協議会への協力として、5月にアユ(1回)、6月にウグイ(5回)の放流に延べ16名、7月の「ガサガサ探検隊」に9名、9月の「水辺の環境教室」に1名が参加しました。桑都ライオンズクラブ「川で遊ぼう」は3名が参加しました。



川の体験学習(小学4年生)

## 6 まちのみどりの保全などの調査活動推進および啓蒙活動の推進

### (1) みどりの保全活動

第十小学校の関係者と6月に1回、7月に3回打ち合わせを行い、8月に校庭の25本の高木に名札を付け、9月に6本の低木に名札を取り付けました。

### (2) まちなかウォッチングの実施

10月に自然体験講座『八王子市街地の社寺・巨木・治水地跡の見どころ探索』を開催しました。17名の参加者はガイドの説明に聞き入り、八王子市民でありながら初めて知ることも多く、今後も是非参加したいと好評でした。

### (3) 環境フォトコンテスト展

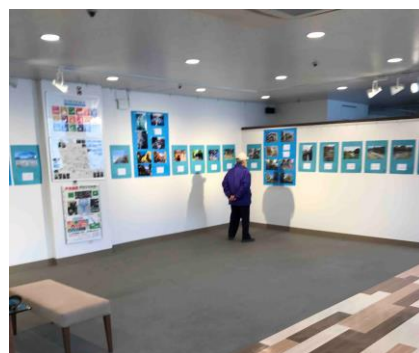
令和2年1月22日～30日の間、村内ファニチャーアクセスで開きました。出展者は会員8名、一般4名で、合計76点の作品が集まりました。入場者は102名、子どもから年配者に渡って好評でした。次回はこれぞ環境問題という作品の応募を期待しています。

### (4) 大気汚染測定

6月と12月に10か所を測定しました。いずれも基準をクリア(基準: NO<sub>2</sub>濃度測定; 0.04~0.06ppm内又は以下)しており、かつ、漸減しています。今後のインフラ整備、産業構造の変化による推移を見届けます。



一守大鳥神社前



写真展会場風景